

新学習指導要領の中身、ちがいが具体的にわかりました。
中学校での「定着」のしかたが、大事だと感じました。なぜなら、小学校で
ぐっぐいと慣れ親しんだり書くことも取り入れたりと抵抗感をなくしている
のに、中学校でそれを台なしにはいけないと思ったからです。

小中のフジョリがスムーズにするのに、どの点と意識して
子供たちに学習課題を与えていけばいいの、考えることが大切だと
思った。「慣れ親しみ」から「定着」に... ということが残った。
「読むこと」「書くこと」については、取り扱う文字の数や種類に配慮したり
練習の工夫を考へていくことが大切だと
感じた。

- ・今年度の小学校の様子を伺うことができた。
- ・小学校での学習の目的、視点、教材について
(かじりつく程度は)知る事ができてよかった。
- ・いろいろな資料 WC/HP を行き来する小学校の先生方が大変である。

小学校 中学年、高学年でそれぞれ学習目標が明確になりました。
何を指導していかなければいけないのか、特に中学校との連携に課題が
あることがわかりました。今年の小中連携研修を生かして、子供達が
スムーズに学習目標ができるようにしたいと思います。

特に H31.32 の中1が小学校で活動したことで学習内容¹に小学校との情報共有を確実に
行っておくことの重要性を改めて理解しました。同じ中学校区内でも、もうすべりに行かぬ方や
担当する教員の配置などに差があり、現状を把握する上で役立ちました。

接続を円滑に行うための小学校での具体的な方法(授
業のゴールを示す、定着のための活動量の確保)を参考に頂き、
大変良かったです。「読むこと」「書くこと」の指導と「話すこと」
「聞くこと」の指導が違うということも具体的に分かって良かったです。

慣れ親しみから定着へ、という点が特に心に残りました。この2年間で、現
高学年担任だけでなく、全ての学年の担任が、外国語活動の現状について、
また2年後の実施について、理解しおかなければならないと改めて感じました。
昨年度研修は枝内で行いましたが、実際に移行の教材での授業が始まり、難
しさを感ずります。先生方と共通理解を固めていきたいです。

ありがとうございました。